

名古屋市立有松小学校での出前講座実施報告

名古屋自然保護官事務所は、6月12日に名古屋市立有松小学校、4年生4クラス(132名)を対象に藤前干潟を紹介する出前講座を実施しました。

講座は「藤前干潟の“生きもの”と“れきし”の話」というテーマで、藤前干潟の成り立ちや生き物と藤前干潟がどのように守られ、現状はどうなっているのかを紹介しました。

干潟の成り立ちや生き物の紹介では、干潟クイズを多用し、干潟についての理解を深めていきました。藤前干潟の場所当てクイズでは、藤前干潟が有松小学校と同じ名古屋市内にあることを知らない児童もあり、名古屋市の地図を用いて同じ名古屋市内にあることを説明しました。藤前干潟は意外と近い場所にある、と思ってくれた児童もいたようです。また、シジミと泥を使った浄化実験では、泥水の浄化の様子を見た後にスライドを交えて説明しました。

また、4年生はこれからゴミについての勉強もしていくことから、藤前干潟の歴史として、ゴミによる埋め立ての危機や漂着ゴミについても紹介しました。この歴史から、藤前干潟という身近な自然と家庭のゴミとの関係を知ってくれたようです。この講座をきっかけにして、身近な自然への興味や関心を深め、環境問題について考えていくて欲しいと思います。

◆講座の内容◆

テーマ	藤前干潟の“生きもの”と“れきし”の話
1.	干潟ってなんだろう？ 干潟の成り立ちと特徴を紹介
2.	どんな生き物がいるんだろう？ 藤前干潟の生き物を紹介 シジミの浄化実験
3.	藤前干潟の歴史 藤前干潟の今と昔 漂着ゴミについて
4.	質問タイム



*クイズに答える児童達



*出前講座の様子

◆実施概要◆

実施日：平成27年6月12日（金）

9:45～10:30（2時限目）

場所：名古屋市立有松小学校（緑区）

対象：小学校4年生（4クラス、132名）、

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所（TEL：052-389-2877）までお問い合わせください。

2015年6月16日

名古屋自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー 西部理恵

